

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		地域支援センター・さくら			公表日	2025年 4月 17日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10		利用者の特性や活動内容等を工夫し、スペースを有効に活用している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10		利用者の状況に合わせて職員を適切に配置している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10		スロープを設置したり、室内の段差をなくしたりなど、バリアフリーを考慮している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10		毎日、消毒等を含む清掃を行い、危険物等がないか事前に確認を行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10		静養室を設け、環境や児童の状態に応じて使用できるようにしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	10		活動の振り返りや特記事項を報告し合い、必要に応じて検討会を開いている。検討したことを各療育の目標設定に活かしている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		平成29年度から実施し、年1回以上は評価を受けている。評価結果をもとに業務改善やサービスの質の向上につなげている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		月に1~2回、職員会議を行うとともに、毎日、朝礼終礼で意見を吸い上げて業務改善に努めている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		10	第三者による外部評価は行っていないが、今後、必要に応じて検討する。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10		施設内研修を定期的に行っている。それ以外にもZOOMを活用しての外部研修等にも積極的に参加を行っている。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10		支援プログラムは作成しているが、公表は次年度から実施していく。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10		初回の面談での聴き取りに加え、日々利用する中で挙がってくる課題や保護者からの要望を取り入れながら計画を立てている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10		職員間で会議を設けており職員間で共通認識を持ち支援を行っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10		職員間で会議を設けており職員間で共通認識を持ち支援を行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10		標準化されたアセスメントツールを使用している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10		ガイドライン総則等を基に、活動プログラムを計画、実施している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10		月に1回、職員会議を開き、活動プログラムについて立案・検討している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10		これまで実施したことない活動内容も考え、利用児童が新しいことへ挑戦できるような活動を企画立案している。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10		個々の課題に合わせて個別活動や集団活動を組み合わせ計画を作成している。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10		開始前に打ち合わせを行っている。配慮すべきことがあれば全体に周知を行っている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10		終礼を行い支援の振り返りとケース情報の共有を行っている。支援内容を個人の支援記録や日誌、引継ぎ用ノートに記し、全員が目を通すようにしている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10		研修を行い、日々の記録を正しく取るようにしている。その記録を基に会議で話し合い、支援方法を検討し、統一した対応が出来るよう支援改善に繋げている。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10		個別支援計画見直しや6ヶ月毎のモニタリングに見直しの必要性を判断している。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	10		ガイドライン総則等を基に、活動プログラムを計画、実施している。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10		活動内容や子どもたちの能力に応じて自らの意志で選択できる機会を設けている。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10		サービス担当者会議には、担当職員や児童発達支援管理責任者などが参加し、情報交換を行っている。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10		サービス担当者会議へ積極的に参加するとともに、地域自立支援協議会へも参画し、障がい福祉関係だけでなく、保育、教育、医療等と連携して支援を行うこととしている。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	10		必要に応じて連絡を取り情報共有等を行うことで不備がないよう適切に対応している。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	10		保育所等から就学前の様子の聞き取りを行い、情報を共有し相互理解に努めている。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	10		保護者や担当の相談支援専門員に依頼された際に、情報提供を行っている。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	10		専門機関での研修や法人内での研修を受け、助言を支援に活かしている。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	10		実習生を受け入れ、交流を持つ機会を提供し、活動では地域の催し物に参加することで交流を図っている。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	10		参加している。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10		送迎等の引継ぎ時や日々の連絡ノート等で情報を伝え合い、共通理解を図っている。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10		保護者との連絡をこまめに行い、情報を共有することでより具体的な助言を行うことが出来るよう努めている。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10		契約時に重要事項説明書を用いて施設の概要や支援内容、料金について丁寧に説明している。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10		面談時に家庭（保護者や子ども）の意向や要望の聞き取りを行っている。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10		面談時に支援内容の説明をした上で、家庭（保護者や子ども）の意向や要望の聞き取りを行い計画の見直しなどを行っている。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10		面談時には家庭での様子や困りごと等、丁寧に聞き取りを行っている。また、連絡ノートなどで気になることがあれば、随時電話連絡し、直接話を聴くようにしている。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5	5	令和5年度に保護者同士や職員との親睦等を目的とした保護者交流会を開催したが、令和6年度はできていない。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10		苦情があった場合には適切に対応できる体制を整えている。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10		法人で発行している広報誌があり、ホームページで公開している。また、放課後等デイサービスの活動の様子もホームページで公開している。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10		保護者より個人情報の使用同意書を得ている・また取り扱いには十分留意している。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10		話し言葉で伝わりにくい子どもに対しては、文字に書き起こしたり、写真にしたりして示すようにしている。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	10		AED設置を地域に向け公開している。 また、法人的行事である運動会や夏祭りなどのポスターを掲示し開催を公示している。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10		各マニュアルを策定し職員に周知している。保護者には利用開始前の契約時に、マニュアルに基づいて説明を行うとともに要望に応じて閲覧するなど対応を工夫している。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10		年数回、火災、地震想定、風水害に対しての訓練を行っている。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10		適宜保護者から情報を得て十分な配慮を行っている。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10		適宜保護者から情報を得て十分な配慮を行っている。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10		各種マニュアルを作成し職員へは安全に配慮した支援が行えるよう共有している。また、児童に対しても防犯教室の実施等、安全における研修等を実施している。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	5	安全計画に基づく取組における家族に対する全体的な周知は行っていないが、必要に応じて保護者への聞き取りを行い家族との連携を図って支援を行っている。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10		怪我や事故のみでなく、てんかん発作の記録もその都度行い、報告書を基に事例検討をするなどの再発防止に努めている。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10		行政機関等の研修を受け、施設で勉強会を開催し職員全体に周知している。また、虐待に関する職員アンケートを実施している。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。		10	身体拘束を行わなければならない利用者がいないので保護者への説明やデイサービス計画への記載などは行っていない。必要に応じて保護者の了解を得るなど適切に対応していきたい。	